※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０１４

令和８年度　工業科（都市住宅系　アーキテクト専科）

教科	工業	科目	アーキテクト製図	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	建築設計製図(実教出版)						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

第１年生で学んだ線の描き方や作図方法を基に、建築分野における基礎的知識・技術の習得を行います。さらに、各種図面を正しく描き、読みとる能力を身につけ、図面を構想・作成するための知識・技術の習得をめざします。また、課題に対し真摯に取り組み、期日厳守に主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。

2　学習の到達目標

・製図の基礎的知識に加え、構造に応じた設計製図法の技術を習得する。
・手書き製図を通じて、各図面の作成方法や様式について理解し、表現技法を身につける。
・各種設計図の作成を通じて、各図面の描く力だけでなく読図力を身につける。
・期日厳守に主体的かつ協働的に取り組む態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	建築設計製図に関する学習や作図・課題演習を通して、建築設計製図に関する基本的な概念や総合的な把握の仕方を理解し、各種建築工事における設計図書の意義や役割、作図手順などの知識・技能を身につけている。	各種建築工事に使用される設計図書作成に関する諸問題を、総合的な見地から的確に把握し考察を深め、建築設計製図における基礎的・基本的な知識を活用して適切に思考・判断し、創意工夫した製図法で的確に表現する力を身につけている。	各種建築工事に使用される設計図書を作成することに興味・関心をもち、建築設計製図の意義や役割の理解および諸問題の解決をめざして、主体的に学習に取り組むとともに、建築技術者として望ましい心構えや態度を身につける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	製図の基礎	製図について ・機器の使い方 ・製図の描き方 ・尺度・寸法	a:建築設計の各図面の作図手順を順守し、基本的知識・技術を身につけている。 b:　建築設計の各図面の意義や役割を適切に思考・判断し、創意工夫した製図法で的確に表現する力を身につけている。 c:建築設計の各図面の意義や役割、作図手順に興味・関心をもち、順序良くきれいに表現する力を身につけている。さらに期日厳守に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	質問・観察 提出作品	質問・観察 提出作品	質問・観察 提出作品 振返りｼｰﾄ
	木構造の設計製図	平屋建専用住宅の各種図面 ・配置図 ・平面図 ・断面図 ・立面図				
2学期	木構造の設計製図	2階建専用住宅の各種図面 ・配置図兼１階平面図 ・2階平面図と1階屋根伏図 ・断面図 ・立面図 ・断面詳細図	a:建築設計の各図面の作図手順を順守し、基本的知識・技術を身につけている。 b:　建築設計の各図面の意義や役割を適切に思考・判断し、創意工夫した製図法で的確に表現する力を身につけている。 c:建築設計の各図面の意義や役割、作図手順に興味・関心をもち、順序良くきれいに表現する力を身につけている。さらに期日厳守に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	質問・観察 提出作品	質問・観察 提出作品	質問・観察 提出作品 振返りｼｰﾄ
3学期	鉄筋コンクリート構造の設計製	店舗付事務所の各種図面 ・配置図 ・各階平面図	a:建築設計の各図面の作図手順を順守し、基本的知識・技術を身につけている。 b:　建築設計の各図面の意義や役割を適切に思考・判断し、創意工夫した製図法で的確に表現する力を身につけている。 c:建築設計の各図面の意義や役割、作図手順に興味・関心をもち、順序良くきれいに表現する力を身につけている。さらに期日厳守に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	質問・観察 提出作品	質問・観察 提出作品	質問・観察 提出作品 振返りｼｰﾄ

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度